

新潟地方気象台（令和6年6月20日発表）によると、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高くなり、特に期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。今年も、少雪や高温などの影響により、用水の確保が厳しい圃場も管内では確認されておりますが、稲体活力維持のためにも、可能な範囲で水管理をお願いします。

生育調査情報（6月20日調査）

田植え日	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齢(葉)	葉色(SPAD)
5月10日	43	548	9.0	42.7
5月15日	37	408	8.4	40.6
5月20日	36	314	8.2	39.8
5月25日	30	243	7.7	37.9
指標値	35	330	7.9	39.0

草丈は「やや長い」、茎数は「多い」、葉齢は「やや早い」、葉色は「やや濃い」状況です。

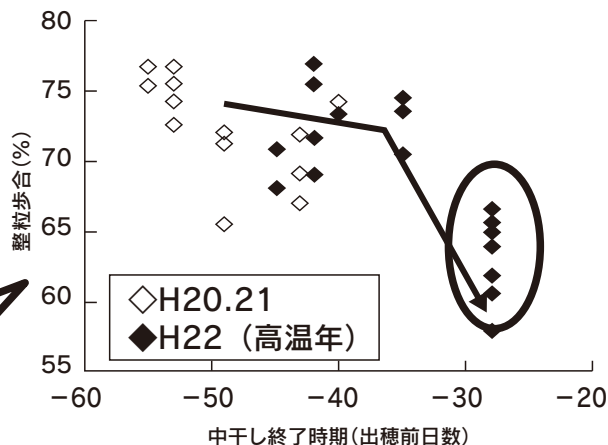
稲作技術情報

1. 中干し終了後の水管理

穂の形成が始まる時期まで中干しを行うと、根域の縮小や水分ストレス等により整粒歩合の低下や登熟不良を助長するため、遅くとも出穂1ヶ月前（7月上旬）に終了し葉色の低下防止に注意しましょう。

特に高温年では、品質への影響が顕著になることから、十分に注意!!

図1 中干し終了時期と整粒歩合
(H20～22年作研)



【中干し終了後からの水管理イメージ図】

中干し終了後から特に水が必要な時期になりますが、常時湛水する必要はありません。
自然落水をして、足跡に水が溜まっている箇所が散見されたら入水するようにしてください。

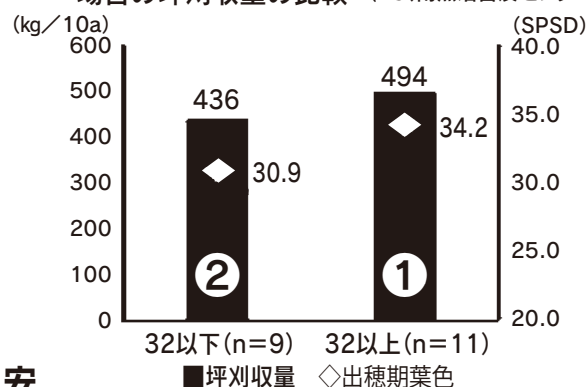


「穂肥診断による穂肥施用の確実な実践!」

1. 幼穂形成期(出穂24日前)での葉色確保!

昨年度は、6月下旬以降の高温により穂肥散布前に葉色の低下圃場（SPAD 値30以下）が確認されました。1穂粒数が決定する幼穂形成期頃（出穂24日前）の葉色確保が重要となります。

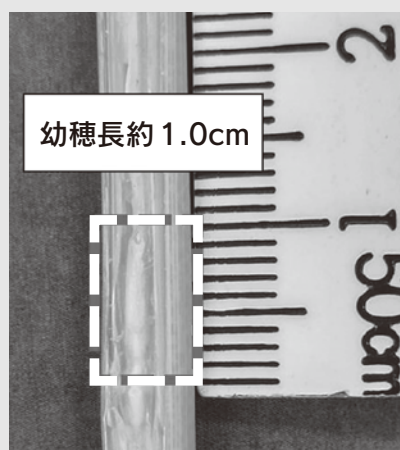
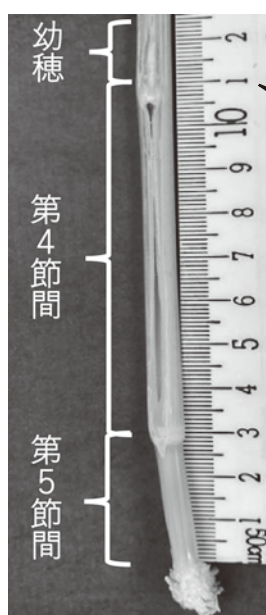
図2：出穂期葉色を32以上/以下でグループ分けた場合の坪刈収量の比較（R5、南魚沼普及センター）



2. 1回目穂肥時期の施用判断と施用量の目安

～ 1回目穂肥時期～

出穂期18日前後（幼穂長1.0～2.0cm）



1回目穂肥時期の生育量によって、穂肥の施用量などが変わります。

幼穂長や生育は圃場間差があるため、圃場ごとに確認し2回目穂肥が確実に施用できるよう、適正な穂肥を実施しましょう!

写真：R4営農指導課撮影

幼穂の確認方法

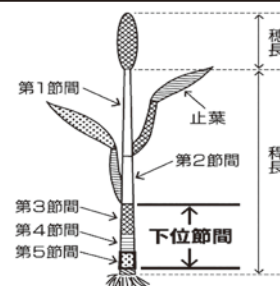
- ①圃場の平均的な生育の株から、最も長い茎を根っこから採取する。（3～5か所から採取）
- ②カッターで茎を割るか、手でむいて幼穂を確認する。

【幼穂の長さとお穂前日数】

幼穂長	0.02 cm	0.1 cm	0.2～0.4 cm	0.5～1.0 cm	4.0～6.0 cm	8.0 cm
出穂前日数	30 日前	24 日前	20 日前	18 日前	12 日前	10 日前

【幼穂確認時に「下位節間長」も確認しましょう!】

幼穂確認時に、倒伏との関連が高い下位節間長を確認してみましょう。第5節間が大きく伸びている場合は、倒伏リスクが高くなるため、穂肥の時期を遅らせたり、減肥等の調整をしましょう!

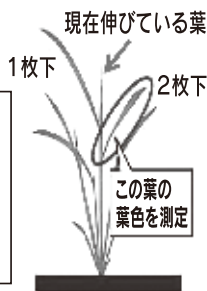


【出穂後の稲体のイメージ図】

節間	節間長の目安	R2	R3	R4	R5	伸長時期
第5節間	3cm	4.9cm	4.1cm	6.7cm	5.2cm	出穂前29～20日
第4節間	9cm	11.5cm	9.2cm	11.5cm	10.3cm	出穂前23～13日
第3節間	15cm	16.4cm	15.8cm	16.9cm	15.4cm	出穂前16～4日

葉色の測定方法

- ① 平均的な生育の株で最も長い茎を選ぶ
- ② その茎の中で、現在伸びている葉の2枚下の葉を選ぶ。
- ③ 5～10株程度を測定し平均する。



葉色カースケール



葉の色が一番近い葉色板の数値を読む。
中間の数値は0.5単位まで
(4に近ければ4.0、3と4の間の場合3.5)

単葉測定の場合は、群落測定より0.8程度濃く見える

葉緑素計「SPAD-502」



葉の真ん中のスジを避け、葉の長さの2/3くらいの箇所を測る。

【コシヒカリ施用時期と施用量の目安表】 診断時期：幼穂長1.0cm(出穂前18日)

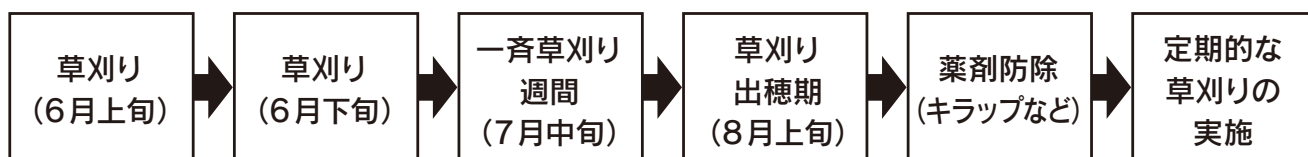
草丈	葉色	10a 当たり施用窒素量目安 (出穂前日数)
75cm 以下 ➡	薄い	群落2.5、単葉3.5 SPAD30以下
		1回目 1.5kg (18日前) 2回目 1.0～1.5kg (10日前)
	並み	群落2.5～3.5、単葉3.5～4.5 SPAD30～34
		1回目 1.0～1.5kg (18～15日前) 2回目 1.0～1.5kg (10日前)
	濃い	群落3.5、単葉4.5 SPAD35以上
		1回目 0～1.0kg (15日前) 2回目 1.0～1.5kg (10日前)
80cm 程度 ➡	薄い	群落2.5、単葉3.5 SPAD30以下
		1回目 0.5～1.0kg (18日前) 2回目 1.0～1.5kg (10日前)
	並み	群落2.5～3.5、単葉3.5～4.5 SPAD30～34
		1回目 0.5～1.0kg (15日前) 2回目 1.0～1.5kg (10日前)
	濃い	群落3.5、単葉4.5 SPAD35以上
		1回目 施用しない 2回目 1.0～1.5kg (10日前)
85cm 以上 ➡	薄い	群落2.5、単葉3.5 SPAD30以下
		1回目 0.5～1.0kg (18日前) 2回目 0.5～1.0kg (10日前)
	並み	群落2.5～3.5、単葉3.5～4.5 SPAD30～34
		1回目 0～1.0kg (15日前) 2回目 0.5～1.0kg (10日前)
	濃い	群落3.5、単葉4.5 SPAD35以上
		1回目 施用しない 2回目 0.5～1.0kg (10日前)

- ・ 出穂期までに SPAD 値で 32 以下になる恐れがある場合は、緊急的に 3 回目の穂肥（出穂期 3 日前に硫安 5 kg/10a）施用を検討してください。

3. 中干し後の圃場管理

3週間程度の間隔での草刈りによって雑草の種子が減り、カメムシの増殖が抑えられます。そのため、6月中下旬と7月中下旬に草刈りを行い、カメムシの生息密度を減らして、斑点米被害から大切なお米を守りましょう！

【草刈りの実施例】



穂肥指導会開催決定！

詳細につきましては、4～5ページをご確認ください。

基本技術の励行による丈夫な稲づくり!

穂肥指導会のご案内

基本技術の励行による品質・収量の高位安定化!

「反収8.5俵・1等米比率95%以上を目指した基本技術の励行」

多くの方よりご参加を
お待ちしております!

開催日程表《大和会場》

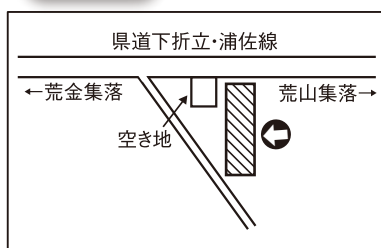
東地区

《雷土》



開催日時
7月16日(火)
夕方 18時30分~

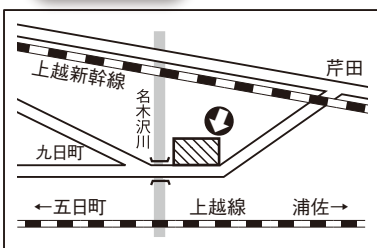
《桐沢》



開催日時
7月16日(火)
夕方 18時30分~

藪神地区

《九日町》



開催日時
7月17日(水)
朝 6時~

浦佐地区

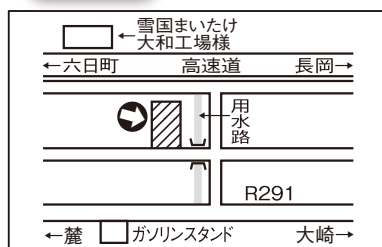
《五箇》



開催日時
7月17日(水)
朝 6時~

大崎地区

《水尾》



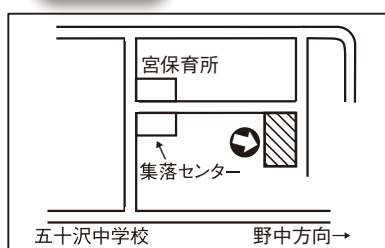
開催日時
7月16日(火)
夕方 18時30分~



開催日程表《六日町会場》

五十沢地区

《宮》



開催日時 **7月12日(金)**
夕方 18時30分~

城内地区

《新堀》



開催日時 **7月12日(金)**
夕方 18時30分~

六日町地区

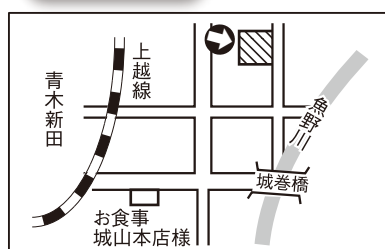
《欠ノ上》



開催日時 **7月17日(水)**
朝 6時~

大巻地区

《青木新田》



開催日時 **7月12日(金)**
夕方 18時30分~

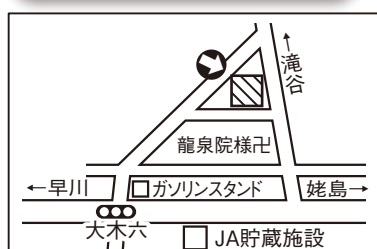
指導会参加の際には自身の
圃場の出穂期確認のために、
カッターナイフと圃場から稲
を数本根元から抜いて持って
きてください!



開催日程表《塩沢・湯沢会場》

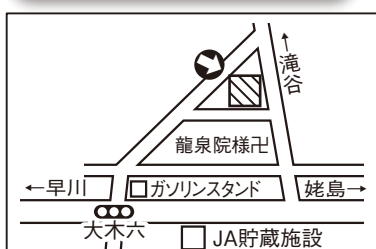
塩沢地区

《しおざわカントリー》



開催日時 **7月13日(土)**
朝 7時30分~

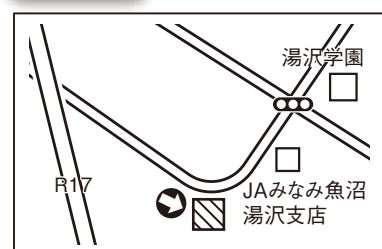
《しおざわカントリー》



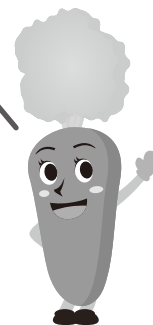
開催日時 **7月17日(水)**
夕方 18時00分~

湯沢地区

《神立》



開催日時 **7月18日(木)**
夕方 18時00分~



☆ニンジン (年内収穫)

7月上旬～中旬までに播種しましょう。ニンジンの発芽適温は15～25℃です。生育初期は高温乾燥期に当たりますが、比較的作りやすい安定した作型です。品種は耐暑・耐病性で形状・色・肥大性にすぐれたものや、耐寒性があり在圃性のあるものを選びましょう。

1. 主な品種と特性

品種	収穫日数	根重 (g)	根形	根色	根長 (cm)	耐病性
向陽二号	110日前後	200	やや肩張り円筒形	鮮紅	18	強
ひとみ五寸				濃紅橙		
交配黒田五寸		250	肩張り円筒形	濃鮮紅		

※ J A 資材店舗在庫切れの場合は、取り寄せとなる場合もございます。ご了承ください。

2. 播種

種の必要量は、6～8ml/10㎡です。軽い土では1cm程度に、重めの土では種子が隠れる程度に覆土をし鎮圧をしましょう。

【条播の場合】

畝幅75～80cm、株間1cm(ペレット種子は3cm)、条間25～30cmの2条蒔きにする。

【点播の場合】

畝間75～80cm、株間10～12cm、1カ所5粒蒔き、条間25～30cmの2列蒔きにする。

ペレット種子について

ペレット種子は播種後しっかりと水をかけるようにします。一度吸水した後に、乾燥するとペレットが硬くなり発芽できなくなるので、水分が切れないうちに注意が必要です。裸種子より水分を多く必要とします。

POINT!

発芽するまでに土壌が乾燥すると極端に発芽率が低下します。特に夏播きでは播種してから発芽までに8～10日ほどかかるので、この間は乾燥防止のため、モミガラやワラを敷くか、寒冷紗などをかけましょう。また、晴天が続く土壌水分が少ない時は、灌水を行いましょう。

3. 間引き

発芽後50日間(本葉7枚程度)くらいで根長がほぼ決定されます。この時期は特に乾燥と肥料不足に注意して、適時間引きを行い、スムーズに生育させることが大切です。

《間引き1回目》…本葉2～3枚です。点播は2～3本立ち、条播は3cm間隔を確保する。

《間引き2回目》…本葉5～6枚です。点播は1本立ち、条播は10～12cm間隔を確保する。

※最終間引き後に、速効性肥料を追肥し、うねの表面を軽く中耕し、同時に株元へ土寄せして青首にならないようにしましょう。

4. 施肥例

肥料名	元肥量	追肥料		備考
		1回目	2回目	
粒状苦土炭カル	2.0			追肥はそれぞれの間引き終了後に行う
苦土重焼燐	0.5			
MMB 燐加安	1.2			
NK 化成		0.2	0.2	

本葉5～6枚頃(太り始める前)がニンジンの一生で一番重要な時期です!! ニンジン栽培では間引きが重要なポイントとなります!!



5. 除草

播種後全面散布し、その後の作業を楽しみましょう。

(10㎡当たり)

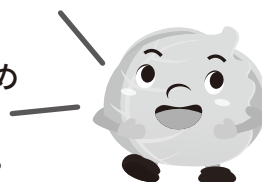
	品名	使用時期	使用量・散布量	使用回数	使用方法
1年生雑草	クレマート乳剤	播種後発芽前(雑草発生前)	2～4ml/1～1.5ℓ	1回	全面土壌散布
	ロロックス	は種直後	1～2g/0.7～1.5ℓ	1回	全面土壌散布
		にんじん3～5葉期 但し、収穫30日まで (雑草発生始期)	1～1.5g/0.7～1.5ℓ	1回	全面土壌散布

※乾燥している場合は、粒剤より水和剤・乳剤の効果が高い。

☆キャベツ（年内収穫）

地域の環境（標高、気温など）と品種、収穫時期を考えて播種時期を決めましょう。

※湯沢地区では7/10頃、それ以外の地区では7/15～20日頃が目安となります。



1. 主な品種と特性

品種名	草姿	定植後 収穫日数	球			耐暑性 ※耐寒性	耐病性	裂球の 早晚
			重量 (kg)	形	色			
やひこ	やや開張	約60日	1.5	扁円 五角形	光沢緑	良	良	早
やひこ A号	やや立性	約60日	1.5	扁円 五角形	光沢緑	良	良	中
越の ひかり	やや開張	約70 ～75日	1.5 ～1.8	扁平 五角形	光沢緑	優	良	中
雪みどり	やや立性	約90 ～120日	1.5	腰高 扁円形	淡緑	※特優	良	遅

※J A資材店舗在庫切れの場合は、取り寄せとなる場合もございます。ご了承ください。

2. 育苗

一般的には直播をしないで、苗を育ててから定植します。

育苗方法		育苗日数	定植時葉枚数
①移植育苗	稲の育苗箱に10cm間隔ですじ蒔き。本葉1.5～2枚の時に6～9cmポット又は25穴のトレーに鉢上げする。	30～35日	3.5～4.0枚
②ポット・トレー 直播育苗	6～9cmのポリポット又は25穴のトレーに種を蒔く方法。1つに3粒程度蒔き、本葉が出たら1本立ちにする。	25～30日	3.5～4.0枚
③セルトレー 育苗	セルトレー（プラグポット）に培土をしっかりと詰め、1穴に1粒ずつ蒔く。乾燥しやすいので、こまめな灌水が必要。	20～25日程度	2.0～2.5枚

3. 育苗管理のポイント

【播種後～発芽までの管理】

POINT!



播種後、内部に水分が行き渡るよう十分に水をまき、その後、トレーを新聞紙で覆い、その上からさらに水をまき新聞紙を湿らせ、直射日光の当たらない場所に置き発芽させます。播種後2～3日で発芽するため、双葉が開き始めたものが見えたら遅れのないように新聞紙を外しましょう。

【育苗中の害虫を防ぐ！】

POINT!



育苗期間のアオムシ、コナガなどの害虫対策として、苗床やトレーの上に播種直後から防虫ネットや寒冷紗をかけて管理をすると害虫の飛来を防ぐことができます。トンネル支柱を立て、防虫ネット等でトンネル全体を覆いましょう。下に隙間があると、害虫が侵入しやすくなるためしっかりと四方を土などで押さえましょう。

【トレー育苗での軟弱徒長を防ぐ！】

POINT!



灌水はできるだけ午前中に行い、日暮れの前にはトレーがやや乾く程度にしておきます。夏まき育苗の後半（播種後10日～14日以降）はできれば屋外で育苗し、風や夜露に当てて苗をしめます。トレーの土は乾きやすいので夏場は毎日灌水が必要となり、特にトレーの縁は乾きやすいので注意が必要です。

キャベツの栽培管理（施肥例、病虫害防除、定植等）は、あぜみちNo.8（8月15日号）でご紹介します!!



～ JAからのお知らせ～

。 資材課からのお知らせ 。

『令和7年度用肥料農薬申込書』での予約購買をお願いいたします

JAでは7月中旬に「令和7年度用 肥料農薬申込書」を農家組合様経由で希望組合員へお届けします。

肥料情勢については、引き続き不安定な状況が継続する見通しであり、生産者の皆様への安定供給に向け「予約購買供給」は重要となっております。

ぜひ、この機会にご予約申込をお願いいたします。

また、「令和7年度用肥料農薬申込書」を新たにご希望の方は、各アグリセンターに準備しておりますのでご活用ください。

アグリセンター大和 ☎777-2431 アグリセンター六日町 ☎773-6121
アグリセンターしおざわ ☎775-7488 アグリセンター湯沢 ☎785-5313

【水分計点検のご案内】

JAでは稲刈り前に水分計の点検を下記のとおり承ります。ご希望の方は、期日までに各施設に水分計をお持ち込みください。

※メーカー・機種により点検できない場合がございます。

※新たに水分計をご注文される方は各施設にお申し込みください。

各施設	持込期日	点検を受ける際に必要な料金 ※修理等は別途料金
アグリセンター大和 電話：777-2431	7月31日(水)	1,100円(税込) ※機種等により受検できない場合がございます。 ※新たに水分計をご注文される方は、各施設へお申し込みください。
アグリセンター六日町 電話：773-6121		
しおざわ農機センター 電話：782-0036	8月31日(土)	

アグリルックシステム(水稻圃場情報提供サービス)の活用について!

地域農業再生協議会とJAで連携し、気象変動に左右されない高品質米生産のため、情報提供体制を構築しています。是非ご活用ください!!

【人工衛星で圃場毎に確認できる内容】

◆生育状況マップ◆葉色マップ◆生育トレンド(生育状況)◆最高 / 最低 / 平均気温
◆積算温度◆出穂期予測◆日射量◆降水量◆

《アグリルックシステムへのアクセス》

URL: <https://www.agrilook-info.jp/minamiuonuma/> ユーザID: user パスワード: user

次号「あぜみち」予告

■稲作…2回目穂肥と病害虫対策について
※園芸は次号お休みです。

ご不明な点がございましたら、JA みなみ魚沼営農指導課までお問い合わせください。

◎アグリセンター大和 Tel777-3786 ◎アグリセンター六日町 Tel773-6121
◎しおざわ基幹センター Tel782-1171